

～マッキ M5 戦闘飛行艇



(ハンザブランデンブルク CC 飛行艇と→)

本機は、イタリアのマッキ(Macchi)が製造した飛行艇タイプのWW I 水上戦闘機です。この機体の初飛行は 1917 年ですから、1903 年にライト兄弟の飛行機が初めて飛んでから 14 年程度でこのような洗練された水上機が造られるのですから、この 14 年は我々が経験したインターネットや、これから経験する A I の発達と同様に、人々が驚異的な飛行機の発達を目にした時代だったのでしょうか。なお、この機体は、宮崎駿監督のアニメ映画『紅の豚』で主人公マルコがイタリア軍で搭乗していた機体です。胴体も翼もののびのびとした線で構成されており、V字型支柱(よく見るとさらに外の細い支柱とともに、テトラ構造を構成している)により、構造的にも洗練されたメカに仕上がっています。同アニメで敵役だった、ハンザブランデンブルク CC を一緒に並べましたが、全く異なる印象を受けます(「折り紙」と「家具」みたいな)。なお、我々が水上戦闘機というとフロート機を想像しますが、太平洋や大西洋の外洋の荒波に対して小型飛行艇は荷が重く、内海のアドリア海でこそ成立した機体たちであると想像します。



【模型について】

英国のペガサス社(Pegasus)の 1/72 の簡易インジェクションキットです。軟質のプラスチックパーツと、支柱やエンジンなどのメタルパーツから構成されており、細い支柱等は自前で調達が必要でした。本作品は本連載の番外編(5)のサボコン用作品と同時に作ったので 26 年前に作ったものですが、破損部分は修復可能だったので今回の撮影に至りました。

(中川裕幸 2025 年 9 月)